

13. 防災

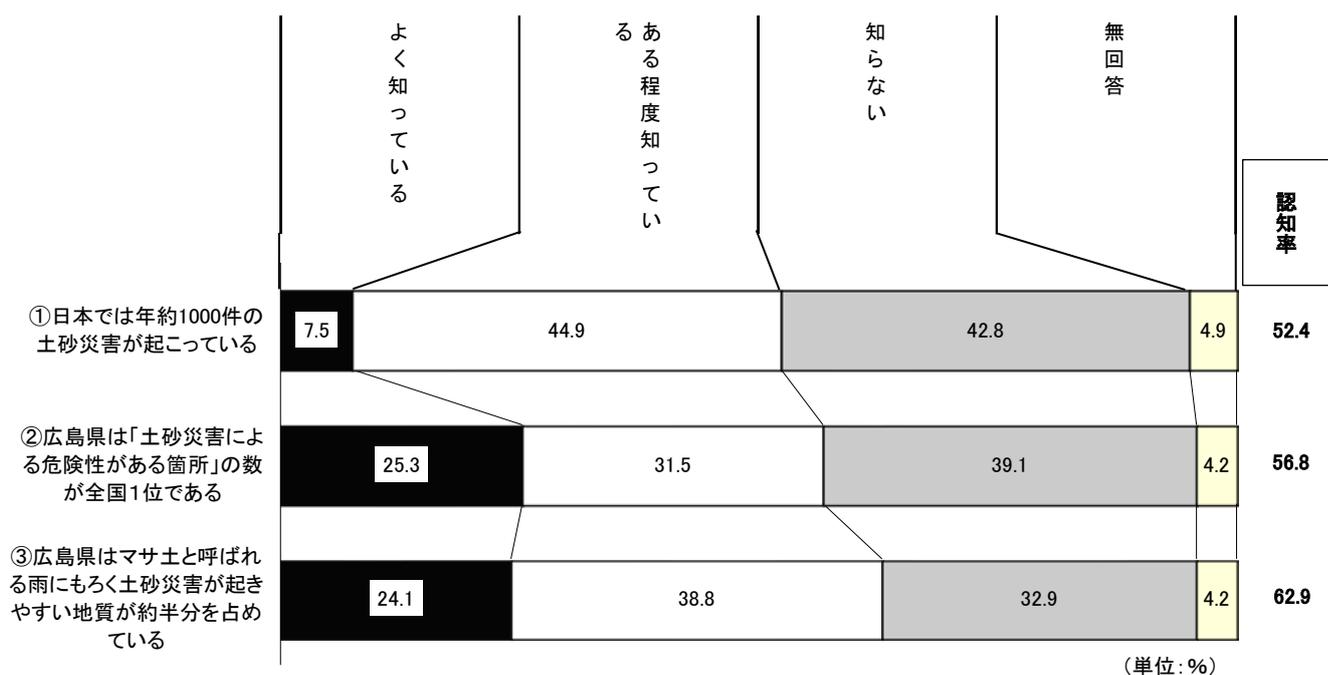
(1) 土砂災害の現状

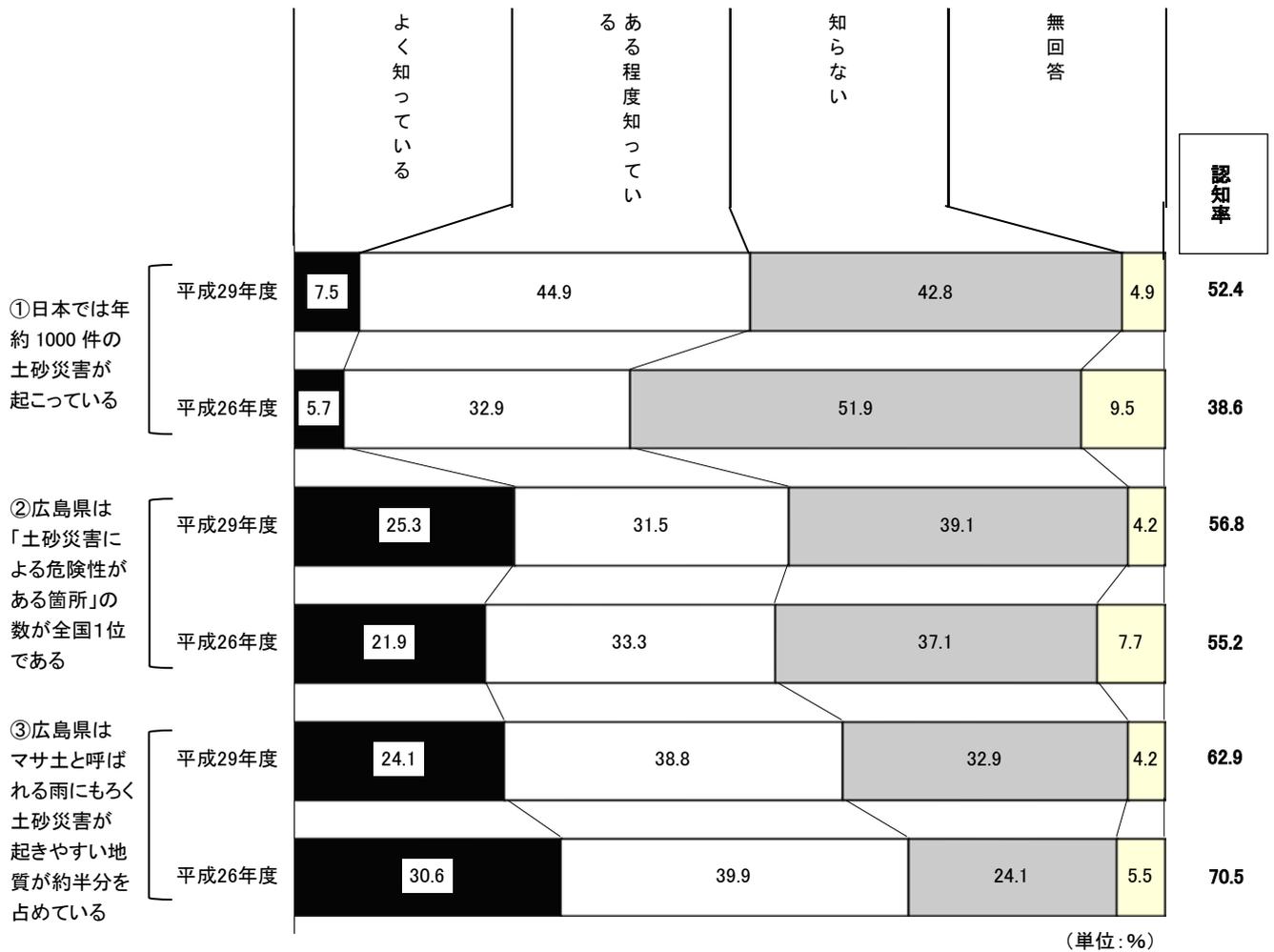
問 35 あなたは、次の土砂災害の現状についてどれくらい知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

土砂災害の現状について「マサ土」の認知率は6割

土砂災害の現状について、認知率（「よく知っている」「ある程度知っている」）は「①日本では年約 1000 件の土砂災害が起こっている」が 52.4%、「②広島県は「土砂災害による危険性がある箇所」の数が全国1位である」が 56.8%、「③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災害が起きやすい地質が約半分を占めている」が 62.9% となっている。

前回調査と比較すると、「①日本では年約 1000 件の土砂災害が起こっている」の認知率は 13.8 ポイント増加し、「③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災害が起きやすい地質が約半分を占めている」の認知率は 7.6 ポイント減少している。





＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島県地方生活圏では「①日本では年約1000件の土砂災害が起こっている」(55.2%)「②広島県は「土砂災害による危険性がある箇所」の数が全国1位である」(61.4%)、「③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災害が起きやすい地質が約半分を占めている」(67.3%)と、3項目すべての認知率が他の生活圏と比べて高い。一方で備後地方生活圏は3項目とも認知率が低い。

【性別】

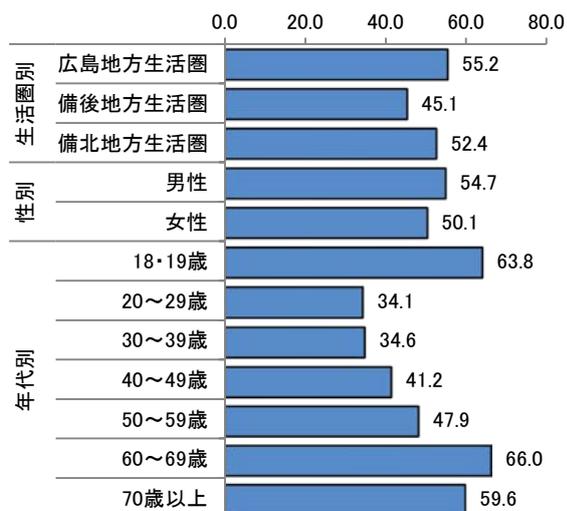
3項目とも男性の認知率が女性と比べて高い。中でも「③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災害が起きやすい地質が約半分を占めている」(70.9%)は女性(56.6%)と比べて14.3ポイント高い。

【年代別】

「①日本では年約1000件の土砂災害が起こっている」の認知率は18・19歳と60歳代以上が6割前後と高い一方で、20～30歳代は3割程度と低い。「②広島県は「土砂災害による危険性がある箇所」の数が全国1位である」の認知率は年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、18・19歳が46.0%と最も低い。「③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災害が起きやすい地質が約半分を占めている」の認知率は18・19歳と40歳代以上が6割以上と高い一方で20歳代は41.6%と最も低い。

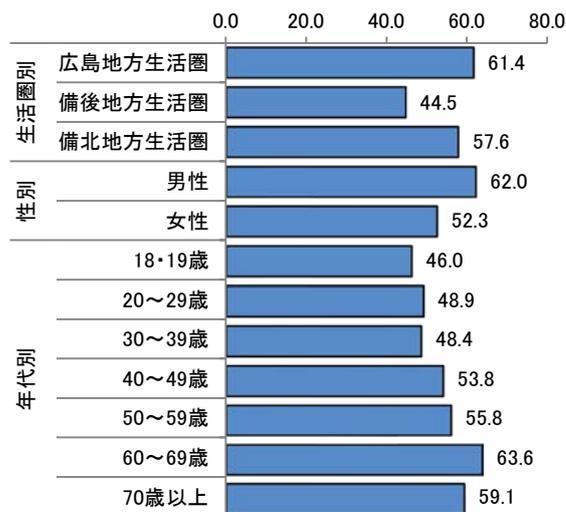
土砂災害の現状 認知率(生活圏, 性, 年代別)

①日本では年約1000件の土砂災害が
起こっている



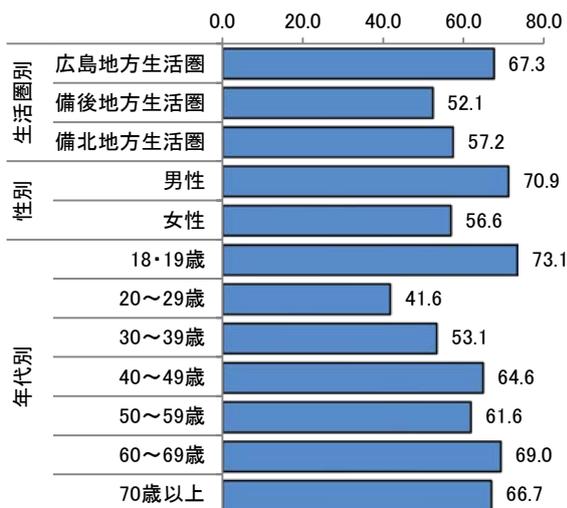
(単位: %)

②広島県は「土砂災害による危険性がある箇所」
の数が全国1位である



(単位: %)

③広島県はマサ土と呼ばれる雨にもろく土砂災
害が起きやすい地質が約半分を占めている



(単位: %)

(2) 自宅付近の「土砂災害による危険性がある箇所」の認知

問 36 あなたは、次の「土砂災害による危険性がある箇所」がご自宅近くのどこにあるかご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

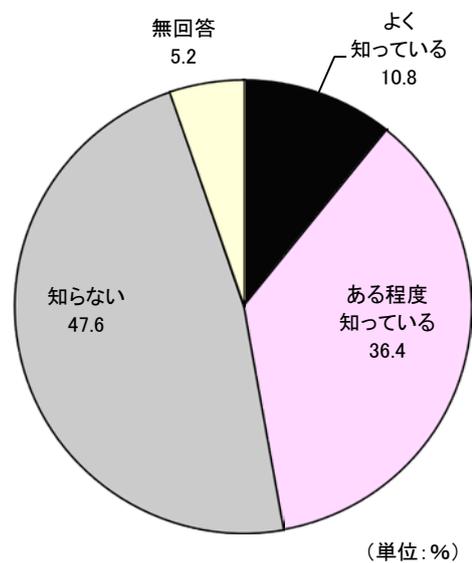
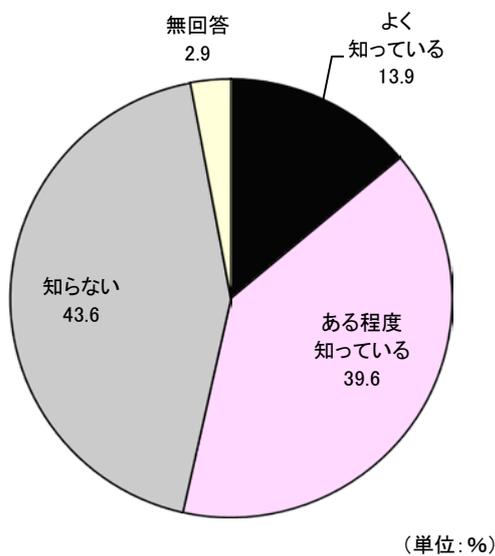
**「土砂災害危険箇所」の認知率は5割と前回より増加、
「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」の認知率は4割**

自宅付近の「土砂災害による危険性がある箇所」について、認知率（「よく知っている」「ある程度知っている」）は①「土砂災害危険箇所」が53.5%、②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」は47.2%となっている。

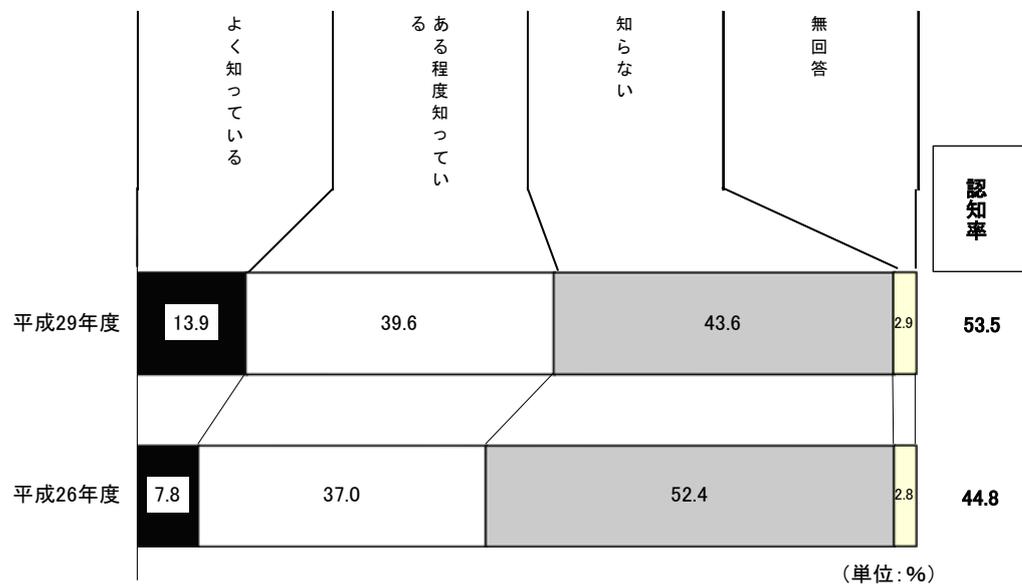
前回調査と比較すると、①「土砂災害危険箇所」の認知率は8.7ポイント増加している。

①「土砂災害危険箇所」

②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」



①「土砂災害危険箇所」前回比較(②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」は前回なし)



＜属性による比較＞

【生活圏別】

①「土砂災害危険箇所」の認知率は広島地方生活圏が 57.3%、備北地方生活圏が 55.2%と高い一方で備後地方生活圏は 43.6%と 11 ポイント以上低い。②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」の認知率は広島地方生活圏が 52.3%、備北地方生活圏が 48.4%と高い一方で備北地方生活圏は 34.2%と 14 ポイント以上低い。

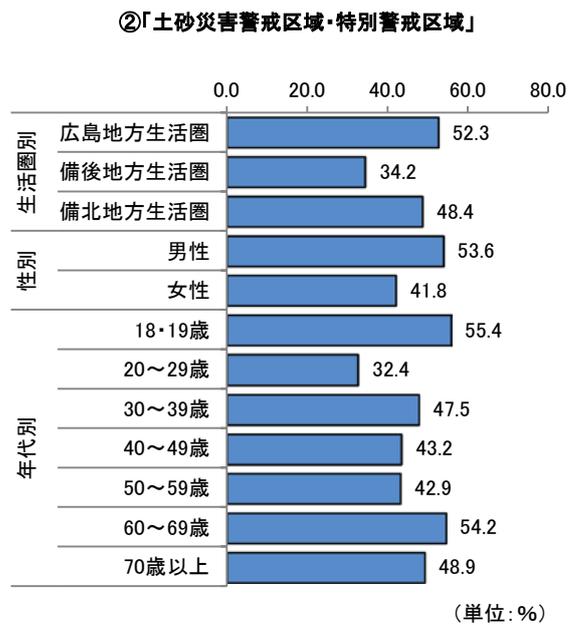
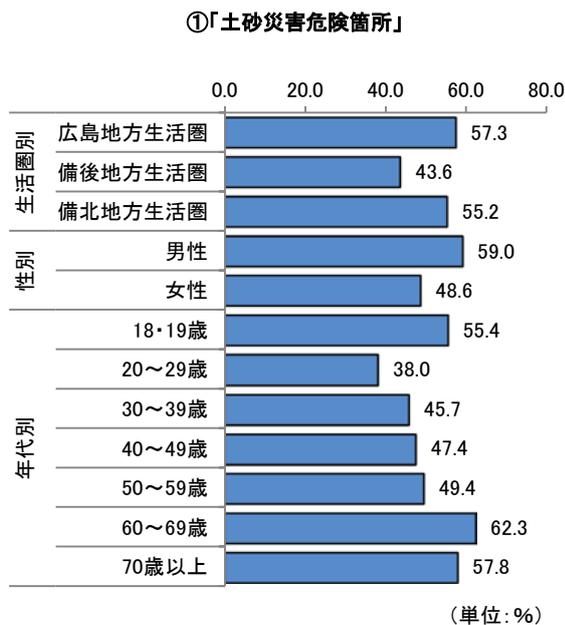
【性別】

男性は①「土砂災害危険箇所」の認知率が 59.0%と女性(48.6%)と比べて 10.4 ポイント高く、②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」の認知率は 53.6%と女性(41.8%)と比べて 11.8 ポイント高い。

【年代別】

①「土砂災害危険箇所」の認知率は 18・19 歳と 60 歳代以上で 6割前後と高い一方で 20 歳代は 38.0%と低くなっている。②「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」の認知率は 18・19 歳と 60 歳代で半数を超え高い一方で、20 歳代は 32.4%と最も低くなっている。

自宅付近の「土砂災害による危険性がある箇所」の認知率(生活圏, 性, 年代別)

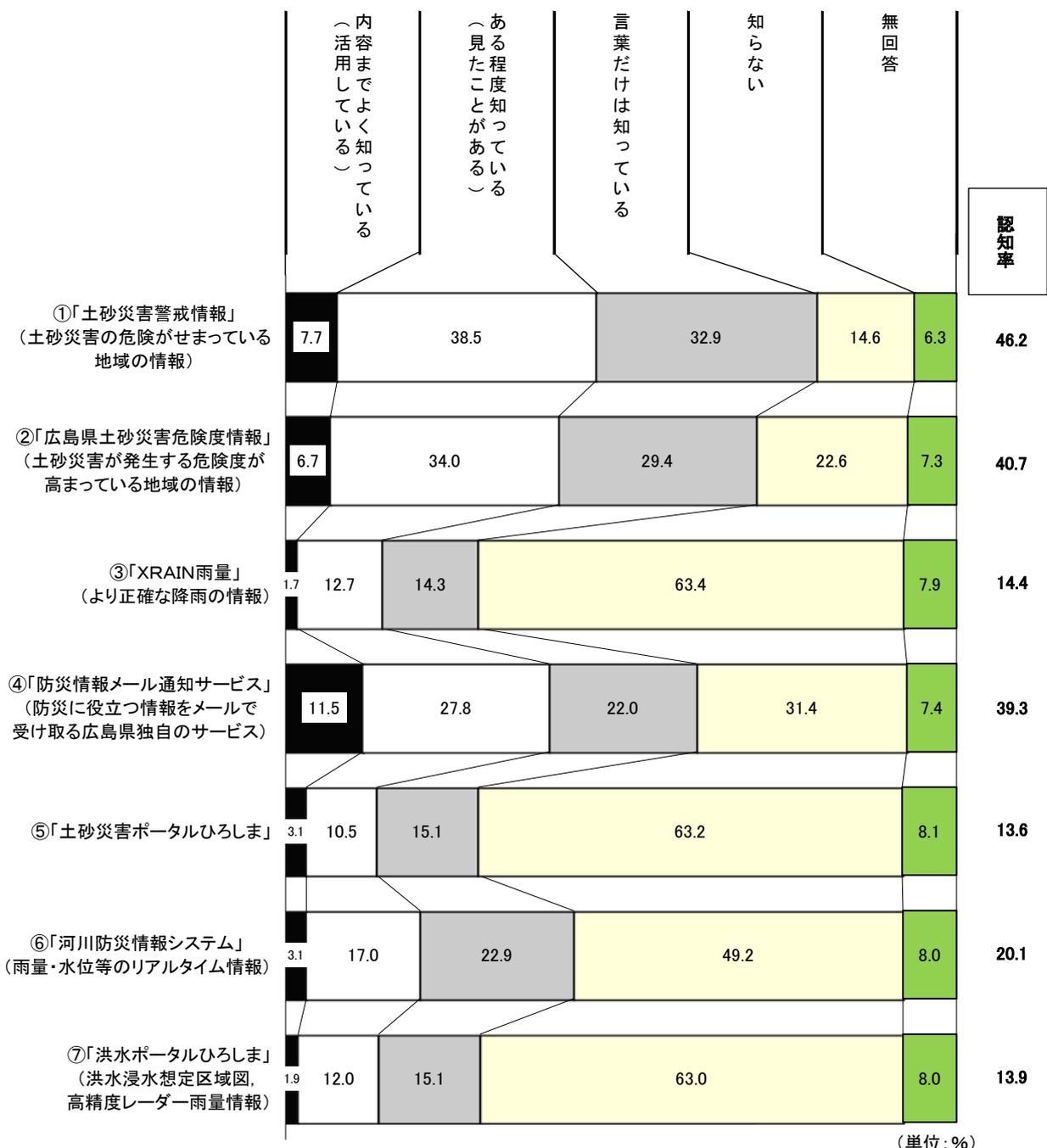


(3) 土砂災害に役立つ情報について

問 37 あなたは、次の自然災害に役立つ情報についてどの程度ご存知ですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

「土砂災害警戒情報」の認知率は約半数

土砂災害に役立つ情報について、④「防災情報メール通知サービス」は内容認知率（「内容までよく知っている」）が11.5%と最も高い。認知率（「内容までよく知っている」「ある程度知っている」）が高いのは①「土砂災害警戒情報」（46.2%）、②「広島県土砂災害危険度情報」（40.7%）、④「防災情報メール通知サービス」（39.3%）となっている。一方で③「XRAIN雨量」、⑤「土砂災害ポータルひろしま」、⑦「洪水ポータルひろしま」は「知らない」と回答した割合が6割を占め、認知率も低い。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

すべての情報について備後地方生活圏は他の生活圏と比べて認知率が低い傾向にある。中でも①「土砂災害警戒情報」の認知率は広島地方生活圏が 50.7%、備北地方生活圏が 50.0%と高い一方で備後地方生活圏は 34.5%と 15 ポイント以上低くなっている。②「広島県土砂災害危険度情報」の認知率は広島地方生活圏が 44.8%、備北地方生活圏が 42.4%と高い一方で備後地方生活圏は 29.8%と 12 ポイント以上低くなっている。⑤「土砂災害ポータルひろしま」の認知率は広島地方生活圏が 15.8%、備北地方生活圏が 17.2%に対し、備後地方生活圏は 7.6%と 8 ポイント以上低くなっている。⑥「河川防災情報システム」の認知率は備北地方生活圏が 31.2%と最も高く、備後地方生活圏が 13.1%と最も低い。

【性別】

男性は⑥「河川防災情報システム」の認知率が 23.3%と女性(16.9%)と比べて 6.4 ポイント高い。③「XRAIN雨量」の認知率(17.2%)は女性(11.5%)と比べて 5.7 ポイント高く、⑦「洪水ポータルひろしま」の認知率(16.8%)は女性(11.2%)と比べて 5.6%高い。

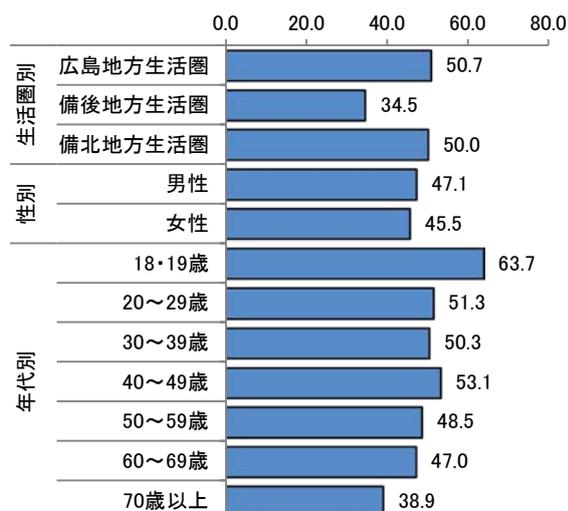
【年代別】

①「土砂災害警戒情報」の認知率は 40 歳代以下が 5割以上と高い一方で、50 歳代以降は半数を下回り、70 歳以上は 38.9%と最も低い。②「広島県土砂災害危険度情報」の認知率は 18・19 歳が 57.6%と最も高く、20 歳代が 35.7%と最も低い。④「防災情報メール通知サービス」の認知率は 18・19 歳(54.3%)と 40 歳代(59.2%)が高い一方で 70 歳以上は 22.1%と最も低い。

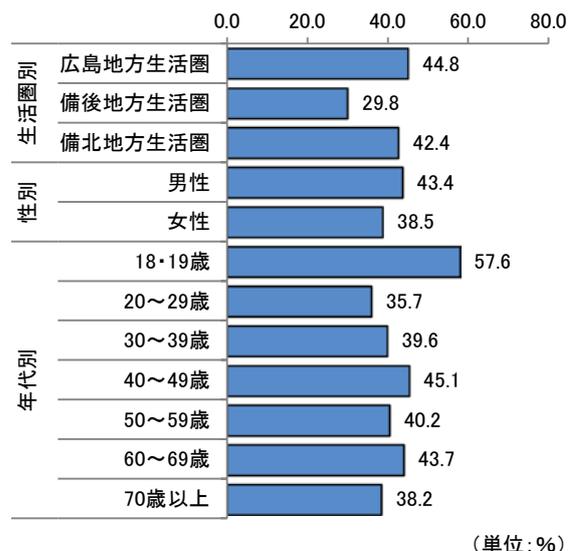
土砂災害に役立つ情報について

認知率(「内容までよく知っている」「ある程度知っている」)(生活圏, 性, 年代別)

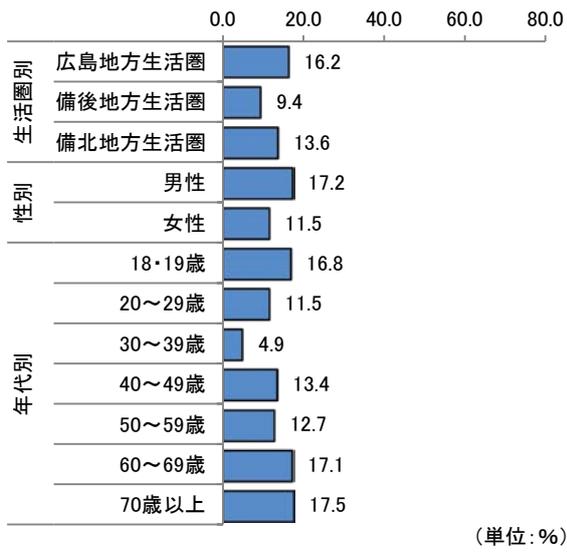
①「土砂災害警戒情報」



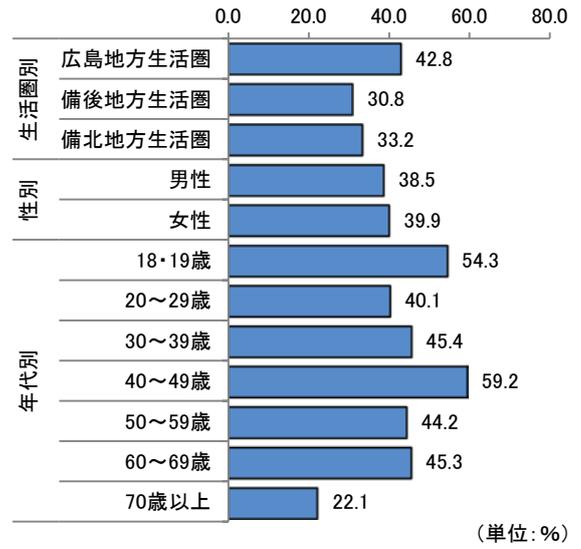
②「広島県土砂災害危険度情報」



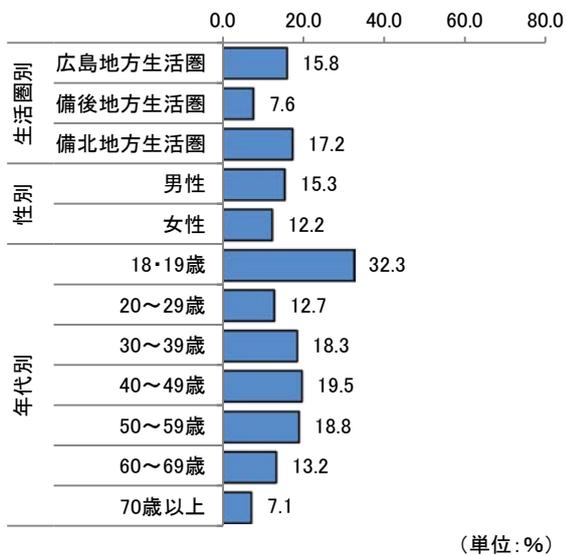
③「XRAIN雨量」



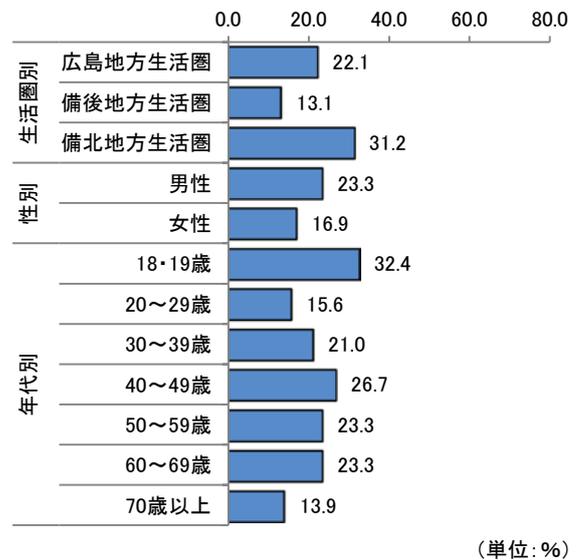
④「防災情報メール通知サービス」



⑤「土砂災害ポータルひろしま」



⑥「河川防災情報システム」



⑦「洪水ポータルひろしま」

